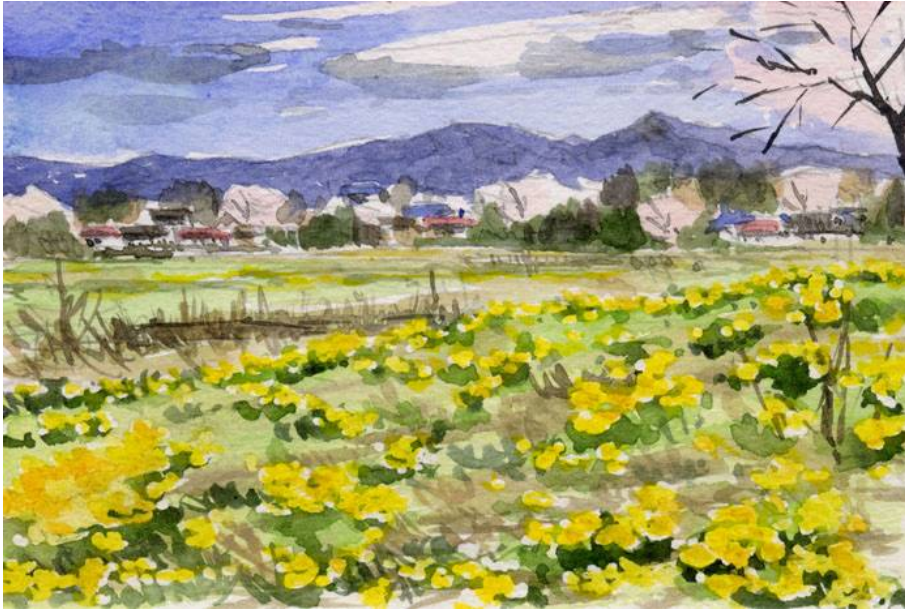
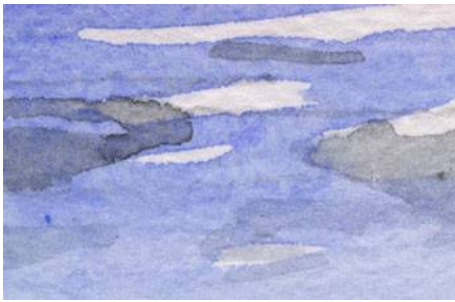


「日々の理科」(第4241号) 2026,-3,21  
水彩画教室 「春色の丘／埼玉県小川町 八和田」  
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所  
田中 千尋 Chihiro Tanaka

小川町では視界が開けた場所なら 平らな山ととがった山が見えます 平らなほうは堂平山(地元では単に「堂平」と呼んでいます)で 頂上にある天文台のどっぴりが特徴です とがったほうが笠山(「か」を強く発音「埼玉」と同じアクセント)です 東上線が小川町駅に近づき 小川盆地に入ると見えるのも この山です 北軽井沢の風景に浅間が欠かせないように 小川町の風景を描くのに この山がとても大切なのです



これが完成した絵です



1、空模様は偶然の色の重なりを大切にします



4、桜と針葉樹の重なり 針葉樹は緑ばかりではありません



2、主題の笠山 青紫に更に濃い紫を重ねます



5、黄色い花の連なり 根元にはシャドウグリーンで影をつけます



3、遠くの桜と民家 民家を故意に詳しく描かないように



6、黄色も二種類を重ねます